

平成 29 年 12 月 22 日

北 都 銀 行
日 本 政 策 金 融 公 庫 秋 田 支 店
秋 田 県 信 用 保 証 協 会

原木椎茸ほだ場でのソーラーシェアリングを協調支援 ～秋田県内初の事業を融資で後押し～

北都銀行（頭取 斉藤 永吉）と日本政策金融公庫（略称：日本公庫）秋田支店農林水産事業、並びに秋田県信用保証協会（会長 関根 浩一）は、株式会社岩城町農園（秋田県由利本荘市、前川正敏代表取締役）の原木椎茸の生産を進めつつ農地で太陽光発電をする「ソーラーシェアリング」の取組みに対し、協調して融資支援しました。

<ポイント>

○味や食感、香りの良い原木椎茸を栽培・加工

岩城町農園は、由利本荘市で原木椎茸の栽培、乾燥椎茸の生産・販売等を行っています。国産椎茸の多くは菌床で栽培されますが、岩城町農園では味や食感、香りの良い昔ながらの原木栽培にこだわり、自社施設で原木椎茸を乾燥し、主にギフト用の販売を進めています。

現在、原木椎茸に対する需要が拡大しているものの、生産設備の制約から生産量が追い付かない状況にありました。そこで、今回人工ほだ場の増設及びハウス等の生産設備を導入し、原木椎茸の生産能力を増やすことで、収益性の向上を図ります。

○ソーラーシェアリングに対する事業性評価

原木椎茸の生産には日影が必要となり、通常、人工ほだ場で栽培を行う場合にはネットをかけることにより日影を確保しますが、今回、岩城町農園では太陽光パネルを設置することで日影を確保します。これにより、農業生産に加えて売電による収益を得ることが可能となり、経営の安定と発展を図ります。

秋田県内では低圧連系(50kW 未満)によるソーラーシェアリングは行われていますが、より発電量の多い高圧連系(50kW 以上)による、かつ原木椎茸ほだ場でのソーラーシェアリングは、県内初の事例となります。

北都銀行、日本公庫、並びに秋田県信用保証協会は、本件の事業性を高く評価し、人工ほだ場及びハウス等の椎茸の生産設備と太陽光パネルの導入に対し、3者による協調で融資支援しました。

今後も、農業分野への金融支援や情報共有など、相互の連携を強化しながら、経営サポートや6次産業化支援など、農業者の経営発展の支援に官民一体となって取り組んでまいります。

【株式会社岩城町農園の概要】

設 立：昭和 51 年 4 月 23 日

業 種：原木椎茸栽培、乾燥椎茸の生産・販売、その他農業加工品の販売

代表者：代表取締役 前川 正敏

所在地：秋田県由利本荘市岩城滝俣字宮ノ下 77

連絡先：090-2405-4119（担当：前川 善隆）

H P：http://iwakimachi-nouen.com/



↑(株)岩城町農園で栽培されている原木椎茸



↑ほだ場にて植菌作業を行う様子



↑ほだ木を伐採している山



↑乾椎茸(当社商品)

【太陽光発電事業の概要】

事業地：秋田県由利本荘市岩城滝俣字浅の又 6 7

発電出力：190 kW

発電開始日：平成 29 年 12 月 26 日（予定）

ソーラーシェアリング（一部施工中）→



＜お問合わせ先＞

北都銀行経営企画部広報室 Tel：018-837-1726（担当：市田）

住所：〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41

日本政策金融公庫 秋田支店 農林水産事業 Tel：018-833-8249（担当：木村、北川）

住所：〒010-0001 秋田市中通 5 丁目-1-51 北都ビルディング 4 階

秋田県信用保証協会 Tel：018-863-9011（担当：仁村、佐藤）

住所：〒010-0923 秋田市旭北錦町 1-47 秋田県商工会館内